

# SA・YA・KA

初恋の痛みさえ ふと遠く思えるわ  
きっと誰も愛せないとあの日泣いた  
振り向けばそこにて 微笑みを投げる人  
そっとうつもこの私を見つめていたの  
抱き締められて 名前を呼ばれ  
SA・YA・KA ささやか 囁かれて 頬まで染まる  
愛は不思議 この私の何かを変える

色づけば摘み取られ 繰り返す哀しみも  
女ならばきっと誰も悦びにする  
気がつけば泣いている 優しさに怯えてる  
あなたのこと思えばもう何も見えない  
髪を撫ぜられ くちづけされて  
SA・YA・KA ささやか 囁かれて 子供に帰る  
ああ愛は不思議 今、私の思いは一途